

# ベージニオ錠を内服される方へ

- ベージニオ錠の内服を開始して1週間前後から下痢が現れる人が多いです
- 下痢を予防するために、整腸剤を服用しましょう
- 便の状態は、「やや柔らかい便」が目標です。泥状便や水様便になれば、**ロペラミド（止痢薬）**を服用しましょう

## ベージニオを服用して、下痢（泥状便・水様便）が起きた場合



- 我慢せずに、**ロペラミド**を1錠服用してください
- 泥状や水様の下痢が2時間経過しても治まらない時は、追加服用可能です。その時、1回2錠に増量可能です
- ロペラミドを1日3回服用しても下痢が治まらない時は、病院にご連絡ください
- 便が出にくい時は、ロペラミドの量の調節や中止をしてください

水様便



固形物を含まない  
液体状の便

泥状便



端が崩れて、  
ふにやふにやの不定形の便

やや軟らかい便



はっきりとした断片のある  
やわらかい半分固形の便

普通便



表面がなめらかでやわらかい  
ソーセージ状の便

ロペラミドを1錠服用

2時間

ロペラミドを1-2錠服用

2時間

ロペラミドを1-2錠服用

2時間

病院に連絡する

以下の症状がある場合、**ベージニオの服用を中止**して、病院に連絡をして下さい

- ロペラミドを1日3回服用しても下痢が続く
- 激しい腹痛や嘔吐、発熱
- 飲食が出来ない
- 血便・黒色便
- めまいやだるさが強い

下痢が続いている間は、  
脱水を起こさないように  
こまめな水分補給を心がけましょう

## 下痢の状態に合わせたロペラミドの使い方（例）

「外出時に下痢が起こらないか不安な場合」



- ◆ いつでも服用できるようにロペラミドを携帯する
- ◆ 外出する前にロペラミド1錠を服用する

「決まった時間に下痢が起こる場合」



いつも午前中に下痢が起こる場合は、朝食後にロペラミド1錠を服用する

# ベージニオ錠を内服中は、**間質性肺疾患**に注意が必要です

- 間質性肺疾患は、間質性肺炎、または肺臓炎とも呼ばれることがあります。
- 間質性肺疾患は、息切れや咳、発熱などの症状がみられます。
- 間質性肺疾患は、急に重篤化して、死亡に至る可能性があるため、**早期発見**と**早期治療**が大切です
- 症状がみられた場合、ベージニオの服用を中止し、速やかに病院に連絡してください

以下のような症状がみられた場合には、

**ベージニオの服用を中止し、速やかに病院に連絡**  
してください

## 息切れ、咳、発熱

- 階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする、息苦しくなる
- 空咳（痰のない咳）が出る
- 発熱する など

息切れや息苦しさが動いたときのみであったり、息切れや咳などがなく、微熱やだるさのみなど、一部の症状しか見られず、わかりにくい場合がありますので、注意してください。

## 緊急の連絡先

兵庫県立病院 乳腺外科  
0798-34-5151(代表)



## サポートプログラム（リリーお薬相談窓口について）

- LINEチャットによるご相談  
二次元コードをスマートフォンで読みとると、「リリーお薬相談窓口」の登録画面が表示されます
- お電話によるご相談：365日年中無休/9時～21時  
0120-526-062

